

第4回 日本ホルンコンクール 開催要項

主催 日本ホルン協会 <http://jhs.horn.jp/>
協力 昭和音楽大学、武蔵野音楽大学
特別協賛 株式会社 モデュレックス

■概要

本コンクールは、従来のソロ演奏に加えてオーケストラ・オーデイションの形式を取り入れ、「上吹き(高音奏者)」「下吹き(低音奏者)」2つの部門を設定し、卓越した技術・音楽性のみならず、オーケストラ作品への造詣の深さも含め、グローバルな演奏スタイルを問うコンクールです。

■開催日および会場

第1次予選 2024年9月1日(日)・2日(月)両日とも 10:00(予定)より
昭和音楽大学 スタジオプリオ
※公式伴奏者を希望した参加者の第1次予選の伴奏合わせは、第1次予選当日におこないます。詳細は個別に連絡いたします。

第2次予選 2024年9月4日(水)10:00(予定)より
武蔵野音楽大学 ブラームスホール

本選 2024年9月5日(木)15:00(予定)より
武蔵野音楽大学 ブラームスホール
※公式伴奏者を希望した参加者の第2次予選と本選の伴奏合わせは、2024年9月3日(火)といたします。詳細は個別に連絡いたします。

■会場へのアクセス

第1次予選会場 昭和音楽大学(新百合ヶ丘南口キャンパス スタジオプリオ)
小田急線 新百合ヶ丘駅南口より 徒歩4分
〒215-8558 神奈川県川崎市麻生区上麻生 1-11-1

第2次予選、本選会場 武蔵野音楽大学(江古田キャンパス ブラームスホール)
西武池袋線 江古田駅北口より 徒歩4分
〒176-8521 東京都練馬区羽沢 1丁目 13-1

■参加資格

国籍不問。2024年9月5日現在で36歳未満の者

■参加料

一般 30,000 円 日本ホルン協会員 25,000 円

■公式伴奏料

公式伴奏料 7,000 円(希望者のみ。この金額は第 1 次予選のみの料金です。)

第 2 次予選に進出され公式伴奏者を依頼される参加者は 10,000 円、本選に進出され公式伴奏者を依頼される参加者はさらに 10,000 円を追加でお支払い頂きます。

■参加料・公式伴奏料の支払い

- ◆参加料および公式伴奏料は、銀行振込となります。振込先や詳細は申し込み後の返信メールでお知らせいたします。
- ◆窓口での払込証もしくは ATM での振込明細書のいずれかをもって参加料領収証に代えます。参加料・公式伴奏料はいかなる理由があっても返却しません。

■申込手続き

当協会ホームページのフォームに必要事項を記入し申し込み終了後、当協会から 3 日以内に仮申し込みの返信メールをいたします。

協会より指定された期間内に入金が確認できた方にコンクール「参加証」を郵送いたします。「参加証」には御自身で写真(縦 4cm×横 3cm・上半身正面・6 ヶ月以内に撮影したもの)を貼付しコンクール当日必ず御持参いただき、本人確認といたします。

■申込に関する注意

- ◆伴奏者を途中でやむを得ない事情により変更する場合は、直ちに事務局へ連絡してください。公式伴奏は先着順、人数に限りがございますので締め切り後の変更はお受け出来ない場合がございます。
- ◆出身学校名、在学学校名は正式名を記入して下さい。
- ◆記入事項に不備のある場合、申込を受け付けないことがあるのでご注意ください。
- ◆高音奏者部門と低音奏者部門の両部門を受ける事は出来ません。

■受付期間

2024 年 6 月 15 日(土)から 7 月 20 日(土)まで必着とし、申込者が両部門合わせて 120 名に達した時点で締め切ります。

■日本ホルン協会同時入会に伴う特典

コンクール申し込みと同時に日本ホルン協会へ入会すると、今年度の年会費を全額免除とし、本コンクールの参加費も会員料金となりますので、非会員の方は本コンクールを機に日本ホルン協会に入会されることをお勧めいたします。

同時入会の希望者は、コンクール申込時の備考欄に必ず「同時入会希望」と記載してください。参加証を送る際、必要書類を一緒に郵送いたします。

同時入会の条件として必要書類記入捺印の上コンクール当日に必ず持参してください。同時入会される方は、参加費は 25,000 円ですが上記必要書類提出が必須となります。提出が出

来なかった場合は同時入会は認められませんのでコンクール当日に不足分の参加費 5000 円をお支払いいただきます。

尚、翌年度からの年会費は年齢によって一般価格、ユース価格を自動振り分けいたします。

■予選

- ◆2 回にわたる予選を行い、本選出場者を決定します。
- ◆予選参加のための旅費その他の費用は、一切参加者の負担とします。
- ◆演奏順は抽選により当協会が決定します(伴奏者の都合などによる希望は受け付けません)。
- ◆審査にあたり、時間の都合などにより演奏を途中で打ち切る場合があります。
- ◆第 1 次予選、第 2 次予選とも公開によるオープン審査とします。

■本選

- ◆公開の演奏によって審査を行い、順位を決定、規定による賞を贈ります。
- ◆本選参加のための旅費その他の費用は、一切参加者の負担とします。
- ◆演奏順は抽選などにより当協会が決定します。
- ◆本選はオープン審査とします。
- ◆採点方法および入賞・入選者の選出は別に定める「日本ホルンコンクール規約」によります。

■参加に際して

- ◆参加者は事務局発行の参加証を持参し、指定の日時に会場で受け付けを済ませ、控室に入り係員の指示に従ってください。遅刻の場合は棄権とみなすことがあります。
- ◆伴奏者は参加者自身が委嘱し、同伴してください。なお、前述のとおり、遠方からの受験などにより、伴奏者を用意することが困難な方のために、公式伴奏者を有料でご紹介する準備がございます。ただし先着順で人数に制限がございます。
- ◆やむを得ず棄権する場合は速やかに日本ホルン協会事務局、またはコンクール開催中は会場内事務局へ連絡してください。

■表彰

- ◆予選を通過し、本選に参加した者には賞状を贈ります。
- ◆本選において第 1 位、第 2 位、第 3 位を得た入賞者には賞金を贈ります。
各部門【第 1 位】50万円 / 【第 2 位】25万円 / 【第 3 位】10万円
- ◆予選の通過者および本選の受賞者の氏名は、日本ホルン協会ホームページで公表します。

■実行委員(敬称略)

中島 大之(昭和音楽大学教授)
樋口 哲生(昭和音楽大学名誉教授)
日高 剛(東京藝術大学准教授)
丸山 勉(武蔵野音楽大学准教授)

■審査員(敬称略)

中島 大之(昭和音楽大学教授・審査委員長)

石山 直城(NHK 交響楽団)
大森 啓史(千葉交響楽団)
小椋 順二(京都市交響楽団)
竹村 淳司(群馬交響楽団首席)
松坂 隼(読売日本交響楽団首席)
丸山 勉(武蔵野音楽大学准教授)

【特別ゲスト審査員】

シビレ・マーニ Sibylle Mahni (ハンス・アイスラー・ベルリン音楽大学教授)
小田井 郁子(ハンス・アイスラー・ベルリン音楽大学管楽器科コレペティトア)

■公式伴奏者

交渉中

■課題曲※曲の末尾にあるカッコ内は版の指定です

【高音奏者部門】

◆第1次予選

R.Strauss: Hornkonzert Nr.1 Es-dur Op.11, 1st mov.

R.シュトラウス:ホルン協奏曲第1番 変ホ長調 作品 11

第1楽章 (指定なし)

* 7 小節目から 24 小節目までをカットし、131 小節 2 拍目まで演奏する。ただし全音楽譜出版使用の際は 7 小節目から 28 小節目までをカットし 135 小節 2 拍目まで演奏する。

◆第2次予選

下記の課題を①②の順序で演奏すること。

①W.A.Mozart: Hornkonzert Nr.4 Es-dur KV495, 1st mov.

モーツァルト:ホルン協奏曲第4番 変ホ長調 KV.495 第1楽章

(Henle 原典版若しくは Bärenreiter 原典版、ただしピアノ譜についてはこの限りではない)

* 32 小節目 1 拍目から開始する。

* 任意のカデンツァを演奏すること。

②Orchestral Excerpts

オーケストラスタディ(8月上旬に送付)

◆本選

下記の課題曲を①②③の順序で演奏すること。

①R.Wagner: Der des Nibelungen, Zweite Tag, Siegfried, Act 2

Scene2, Siegfried-Ruf

ワーグナー: 楽劇『ニーベルングの指環』第2日『ジークフリート』第2幕

第2場より、ジークフリート・ルーフ

(第2次予選②と同様に8月上旬に送付)

②J.Haydn: Konzert Nr.1 für Horn und Orchester D-dur Hob.VIIId:3,
1st mov.

ハイドン:ホルン協奏曲第1番 二長調 第1楽章

(Henle 版、ただしピアノ譜はこの限りではない)

* 26 小節目 1 拍目から開始。ピアノ伴奏の後奏は 155 小節目から
167 小節目をカットする(他の出版社使用の際はこれに準ずる)。

* 任意のカデンツァを演奏すること。

③R.Schumann: Adagio und Allegro Op.70

シューマン:アダージョとアレグロ 作品 70 (指定なし)

【低音奏者部門】

◆第1次予選

H.Neuling: Bagatelle

ノイリンク:バガテル(指定なし)

* 練習番号⑦1小節目まで演奏する。ピアノ伴奏は練習番号⑦
1小節目 1拍目を付点4分音符に変更して終了する。

◆第2次予選

下記の課題を①②の順序で演奏すること。

①W.A.Mozart: Hornkonzert Nr.3 Es-dur KV447, 1st mov

モーツァルト:ホルン協奏曲第3番 変ホ長調 KV.447 第1楽章(Henle
原典版

若しくは Bärenreiter 原典版、ただしピアノ譜についてはこの限りではない)

* 25 小節目 3 拍目から開始する。

* 任意のカデンツァを演奏すること。

②Orchestral Excerpts

オーケストラスタディ(8月上旬に送付)

◆本選

下記の課題曲を①②③④の順序で演奏すること。

①E.Bozza: En Forêt Op.40

ボザ:森にて 作品 40 (指定なし)

②C.Nielsen: Canto Serioso Op.132

ニールセン:カント・セリオソ 作品132 (指定なし)

③M.Hackleman:

34 Characteristic Etudes for Low Horn Playing, No.13

ハックルマン:低音ホルンのための34の性格的練習曲より

第 13 番 (Editions Bim 版)

④ L.v. Beethoven: Sonata für Horn und Klavier F-dur

Op. 17, 1st mov.

ベートーヴェン: ホルンソナタ ヘ長調 作品 17 第 1 楽章 (指定なし)

* リピートは行わない。

■ 注意事項

- ◆ 予選・本選を通して、暗譜を指定しません。
- ◆ 使用楽器について、High F 管等デスクアント管を組み込んだ楽器の使用は認めません。
- ◆ 予選・本選ともに、伴奏はピアノに限ります。
- ◆ 参加者のコピー譜の使用は、著作権の問題が生じますので認めません(第 2 次予選、本選高音奏者部門一部のオーケストラスタディにおいてはこの限りではありません)。楽譜の使用については、参加者、伴奏者ともに紙媒体のみとし、電子機器類の使用は不可とします。
- ◆ 第 1 次予選・第 2 次予選・本選は公開審査ですが、未就学児の入場はご遠慮ください。

■ お問い合わせ先

日本ホルン協会 ホルンコンクール係

コンクール専用メールアドレス jhs.horn.contest@gmail.com

ホームページ <http://jhs.horn.jp/> にもお問い合わせフォームがございます。

*特別協賛の「株式会社 モデュレックス」は、音楽家のための活躍の場を提供する社会貢献を積極的に行なっている会社です。この度の多大なるご協賛に対し、心より感謝いたします。 日本ホルン協会

日本ホルンコンクール 規約

本コンクールは、卓越した技術・音楽性のみならず、グローバルな演奏スタイルやアンサンブル能力をも問うホルンコンクールである。現場で培われた経験や学術的な研究をもとに、選曲から審査員の選考、審査方法まで独自の視点で検討し、真の素晴らしいホルン奏者の発掘育成を行う。

第一章 総則

第1条 本コンクールは「日本ホルンコンクール」と称し、創設以来の通算回数を冠する。

第2条 本コンクールは日本ホルン協会主催とする。

第二章 事業

第3条 本コンクールは、優秀な新人の発掘につとめ、これを主催者の演奏会によって広く世に紹介する。

第4条 本コンクールは原則として3ヶ年おきに審査を行う。

第5条 本コンクールに参加し、審査のうえ、優秀な成績を修めたものはこれを表彰する。

第6条 コンクールの全期間における参加者の演奏の録音、録画、放送、頒布に関する権利は、すべて主催者に帰属する。

第三章 審査員

第7条 本コンクール審査員は、開催ごとに主催者が原案を作成し、常任理事会の承認を得て委嘱する。

第四章 課題曲

第8条 予選、本選の課題曲は、日本ホルン協会常任理事会が決定する。

第五章 応募者

第9条 応募者の国籍は問わない。

第10条 応募者は、満36歳未満(当該年本選日現在)を資格とする。

第11条 本コンクールに入賞した者が再び応募する場合は、第1次予選を免除する。また、第1位入賞者が再び応募することを認めない。

第12条 応募者は本コンクール要項に従わなければならない。違反した場合は失格とみなす。

第六章 審査

(予選)

第 13 条 審査は原則として第 1 次・第 2 次予選の 2 回にわたって行う。

第 14 条 予選の演奏順序は抽選などにより主催者が定める。

第 15 条 審査は点数制とする。

第 16 条 点数は 100 点満点とし、小数点以下は認めない。

第 17 条 採点は各予選とも、独立して扱う。

第 18 条 出席審査員は予選に出席した参加者の演奏をもれなく聴き、参加者の演奏成績に従って点数を所定の用紙に記入し、署名後、事務局に提出する。

第 19 条 採点にあたっては、全審査員の採点結果のうち最高・最低点(各 1 人ずつ)をカットしたものを合計する。

第 20 条 各予選通過者及び本選出場者は高得点順とし、人数については日程や会場及び演奏所要時間などを総合的に考慮し、審査員、主催者の二者で協議のうえ適正な人数を選出する。

(本選)

第 21 条 本選の審査は参加者の公開演奏によって行う。参加者の演奏順序は抽選などにより主催者が定める。

第 22 条 審査は点数制とする。

第 23 条 点数は 100 点満点とし、小数点以下は認めない。

第 24 条 採点にあたっては、全審査員の採点結果のうち最高・最低点(各 1 人ずつ)をカットした合計点数に、第 2 次予選で獲得した合計点数の 60%を加算する。

第 25 条 順位は、上記の点数を合算した点数の高得点者順とし、入賞者は原則として 3 人以内とする。

第 26 条 審査会で討議後、第 1 位、第 2 位、第 3 位の順位を決定する。同点は同位とする。ただし、演奏レベルなどを勘案して必ずしも原則通りの順位を選出しなくてもよい。

第七章 表彰

第 27 条 参加者のうち、第 2 次予選を通過し、本選に出場した参加者を入選者とする。

第 28 条 入選者のうち、本選審査によって、原則として第 1 位、第 2 位、第 3 位を決定し、入賞者とする。

第 29 条 入賞者に対して賞状並びに賞金を贈る。入選者には賞状を贈る。

第 30 条 本コンクールは外部からの寄託賞を受けることができる。ただし、その受託に関しては主催者の常任理事会の承認を必要とする。

2010 年 3 月 4 日制定

2024 年 1 月 24 日改定